

科目5

評価と終結

講義のねらいと構成

ねらい

課題に対する目標の達成状況を把握するとともに評価から終結までの適切で的確な判断および手順について理解し、演習をとおしてこれらを獲得する

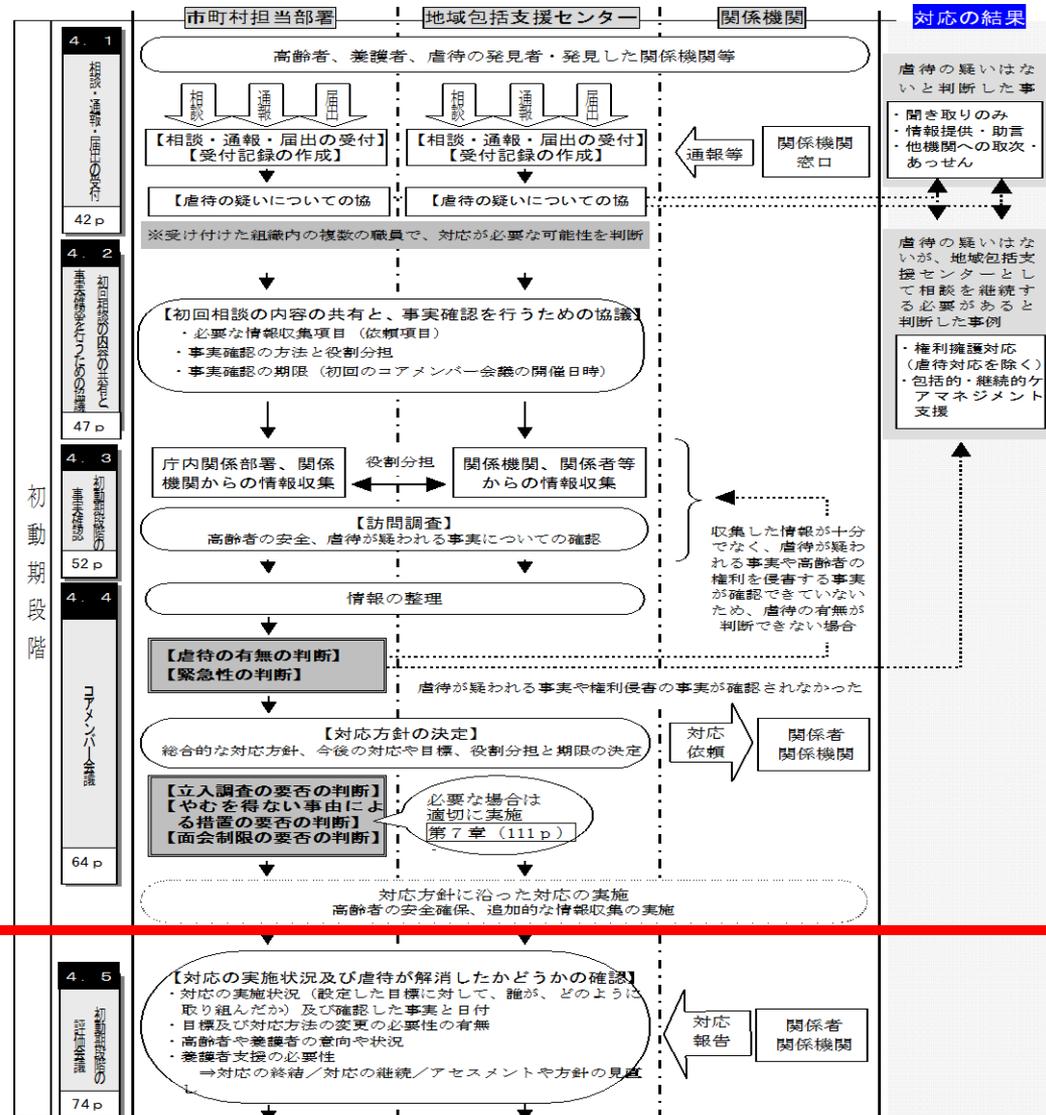
構成

- 高齢者虐待対応における初動期段階、対応段階での評価とはなにかを学ぶ
- 高齢者虐待対応における終結とはなにかを学ぶ

対応の全体フロー図(上)

(手P. 36、●P.38)

養護者による高齢者虐待対応の全体フロー図<第4章>

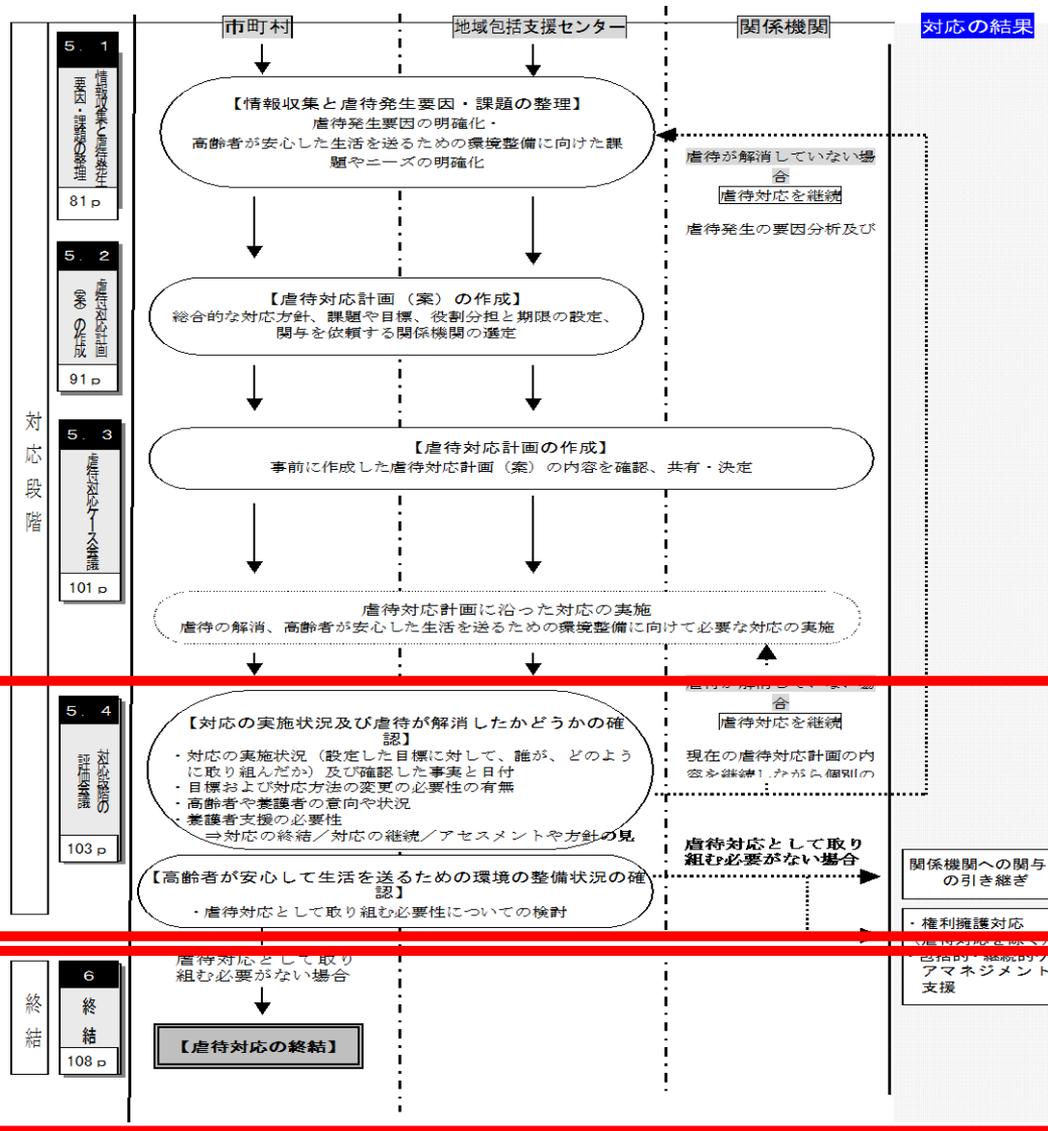


初動期段階
の評価会議

対応の全体フロー図(下)

養護者による高齢者虐待対応の全体フロー図<第5・6章>

対応段階



対応段階の 評価会議

終結段階

初動期段階の評価会議

手引き 第4章-第5節 P.74~77、●p77~80

初動期段階の評価会議

ポイント

- ◆市町村は、コアメンバー会議で決定した対応方針の実施状況や、行った対応が適切だったかどうかについて検討する。
- ◆対応状況等の確認・評価は、当初設定した評価日を厳守して行うことが求められる。
- ◆初動期段階の評価会議では、対応段階のための、新たな情報収集の必要性についても検討を行う。

(1) 初動期段階の評価会議の開催

1) 出席者

評価会議は、市町村担当部署の職員と地域包括支援センター職員で構成する。

立入調査など行政権限の行使についての判断が必要となる場合には、市町村担当部署の管理職が出席することが必要。

2) 具体的な評価の方法、視点

初動期の目的である高齢者の生命や身体
の安全の確保がなされたかどうかを判断し、
取り組んだ結果、当初の目的が達成できたか
どうかに着目する。

《具体的な評価の手順》

- ・課題ごとに設定した目標に向けて、予定通り取り組んだか
- ・具体的に誰が、いつ、何をしたか
- ・取り組んだ結果、確認された事実はなにか
- ・その事実は、目標を達成したものであったか
- ・目標や対応方法の変更の必要があるか
- ・対応後の虐待の状況、高齢者本人、養護者の意向や状況はどうか
- ・虐待の解消に向けて養護者支援の必要性はあるか

【参考】設定した目標や対応方法の変更の必要性を 検討するための確認事項例-1

(手P. 75、●p78)

○高齢者

- 高齢者の生命や身体の危険が回避されているか。
- 対応方針に基づく対応を受け入れているか。介入拒否などにより、対応が実施できていない状況にないか。
- 虐待の一時的な解消が図れているか。
- 新たに緊急に対応すべきリスクや市町村権限の発動の必要性などが生じていないか。
- 対応を行った結果、または別の要因が発生したことにより、高齢者の意向、生活状況に悪化(変化)が見られていないか。

3) 役割分担

【市町村担当部署】

- ・会議の招集 ・進行
- ・対応の実施状況等についての情報収集結果資料の準備
- ・会議記録(議論の経過がわかるような議事録)の作成・保管 など

【地域包括支援センター】

- ・対応の実施状況等についての情報収集結果資料の準備
- ・会議記録(帳票類)の作成 など

4) 会議記録の作成－記録する事項

《高齢者虐待対応評価会議記録票を活用》

- ① 対応方針で設定した対応の実施状況と確認した事実と確認した日付
- ② 目標の達成状況、目標や対応方法の変更
- ③ 評価会議時点での虐待発生のリスク状況、高齢者、養護者の意向や状況
- ④ 新たな対応計画の必要性
- ⑤ 評価結果のまとめと今後の対応

【参考】高齢者虐待対応評価会議記録票(評価)

高齢者虐待対応評価会議記録票

決 裁 欄(例)			
課 長	係 長	担当者	
		⑥	

高齢者本人氏名 _____ 殿

計画作成者所属 _____ 地域包括支援センター

計画作成者氏名 _____

計画評価: _____ 日 記入年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

会議日時: _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分 ~ _____ 時 _____ 分

会議目的	出席者	所属: 氏名	所属: 氏名	所属: 氏名
		所属: 氏名	所属: 氏名	所属: 氏名
		所属: 氏名	所属: 氏名	所属: 氏名

課題番号	目標	計画通りの役割分担・対応方法を実施した場合には、□にチェック	確認した事実と日付	目標及び対応方法の評価 目標及び対応方法に変更の場合、()内に記載
		<input type="checkbox"/>		目標達成 <input type="checkbox"/> 目標の継続 <input type="checkbox"/> 対応方法の継続 <input type="checkbox"/> 目標の変更 <input type="checkbox"/> 対応方法の変更
		<input type="checkbox"/>		目標達成 <input type="checkbox"/> 目標の継続 <input type="checkbox"/> 対応方法の継続 <input type="checkbox"/> 目標の変更 <input type="checkbox"/> 対応方法の変更
		<input type="checkbox"/> ①		目標達成 <input type="checkbox"/> 目標の継続 <input type="checkbox"/> 対応方法の継続 <input type="checkbox"/> 目標の変更 <input type="checkbox"/> 対応方法の変更 ②
		<input type="checkbox"/>		目標達成 <input type="checkbox"/> 目標の継続 <input type="checkbox"/> 対応方法の継続 <input type="checkbox"/> 目標の変更 <input type="checkbox"/> 対応方法の変更
		<input type="checkbox"/>		目標達成 <input type="checkbox"/> 目標の継続 <input type="checkbox"/> 対応方法の継続 <input type="checkbox"/> 目標の変更 <input type="checkbox"/> 対応方法の変更
		<input type="checkbox"/>		目標達成 <input type="checkbox"/> 目標の継続 <input type="checkbox"/> 対応方法の継続 <input type="checkbox"/> 目標の変更 <input type="checkbox"/> 対応方法の変更

虐待発生 のリスク状況	虐待種別	判定	高齢者本人の状況(意見・希望)	介護者の状況(意見・希望)
1. 身体的虐待 2. 放棄・放任 3. 心理的虐待 4. 性的虐待 5. 経済的虐待 6. その他			③	④

①
②
③
④
⑤

④	1. 虐待対応の終結 2. 現在の虐待対応計画内容に基づき、対応を継続 3. アセスメント、虐待対応計画の見直し 4. その他()	⑤	1. 権利擁護対応(虐待対応を除く)に移行 2. 包括的・継続的ケアマネジメント支援に移行 3. その他()
---	---	---	---

対応段階の評価会議

手引き 第5章-第4節 P103～105、●p108～110

対応段階の評価会議

ポイント

- ◆市町村は、虐待対応計画の実施状況や、行った対応が適切だったかどうかについて評価を行う。
- ◆対応段階の評価会議では、虐待対応の見直し、継続または終結についても検討する。
- ◆計画の実施状況等の確認・評価は、当初設定した評価日を厳守して行うことが求められる。

(1) 対応段階の評価会議の開催

1) 出席者

評価会議は、市町村担当部署の職員と地域包括支援センター職員で構成する。

行政権限の行使や終結の判断が必要となる場合には、市町村担当部署の管理職が出席することが必要である。

2) 対応段階の評価会議の目的、位置づけ

虐待対応について責任を持つ市町村は、虐待対応を終結させるまで、虐待対応計画の立案、実施と評価を繰り返す必要がある。

【対応段階の評価会議】

- ・第一義的目的は虐待対応計画の実施状況の確認や対応の適切さに関する評価で、初動期段階の評価会議と同様。
- ・常に終結の可能性や終結の具体的形態について意識していく必要がある点が初動期段階での評価会議との相違点。

※それ以外の会議運営、例えば、「協議事項」、「役割分担」の考え方については、「4.6 初動期段階の評価会議」に準じる。

3) 具体的な評価の方法、視点

作成した虐待対応計画に即して、実施状況等の確認・評価を行う。具体的には、初動期同様、各目標に対する実施状況、確認した事実と日付、目標及び対応方法の変更の必要性の有無とその内容を確認し、虐待発生のリスク状況、高齢者本人、養護者の意向や状況について合議した上で、評価のまとめを行う。

設定した目標や対応方法の変更の必要性を 検討するための確認事項

(手P. 103、●p109)

○高齢者

- 虐待の発生要因、虐待解消に向けた課題が解消したか。何を根拠としてそう言えるか。
- 対応を行った結果、虐待解消に向けた新たな課題が生じていないか。
- 虐待を再発させる要因や可能性が残されていないか。
- 高齢者が安心して生活を送るための環境や体制が構築できているか。
- 高齢者が支援を受け入れる状況にあり、継続した関わりを持てる状況にあるか。

設定した目標や対応方法の変更の必要性を 検討するための確認事項

○養護者

- 虐待の発生要因、虐待解消に向けた課題が解消したか。何を根拠としてそう言えるか。
- 対応を行った結果、養護者に新たな課題が生じていないか。
- 虐待を再発させる要因や可能性が残されていないか。
- 高齢者の虐待を解消していくために、養護者支援の必要性が生じていないか。
- 養護者の意向を確認しているか。
- 養護者の状況や生活に改善が見られているかどうか。
- 養護者が支援を受け入れる状況にあり、継続した関わりを持てる状況にあるか。

設定した目標や対応方法の変更の必要性を 検討するための確認事項例

○その他の家族

- 他の家族の関わりによって、虐待の解消が図れる状況にあるか。
- 他の家族の関わりによって、高齢者が安心して生活を送るための環境や体制が構築できているか。
- 対応を行った結果、家族全体の状況や生活に改善が見られているか。

設定した目標や対応方法の変更の必要性を 検討するための確認事項

- 関係者（近隣・地域住民等との関係を含む）
 - 関係者の関わりによって、虐待の解消が図れる状況にあるか。
 - 関係者の関わりによって、高齢者が安心して生活を送るための環境や体制が構築できているか。
 - 対応を行った結果、家族全体の状況や生活に改善が見られているか。

4) 評価結果のまとめと

今後の対応についての協議-1

虐待対応計画の実施状況等について確認・評価を行った結果、虐待対応を継続するか、継続する場合どのような継続とするか、あるいは終結が可能か等を検討する。

終結が可能かどうかの判断は、虐待発生要因が明確化され、実際に虐待が解消しているか否か。

4) 評価結果のまとめと 今後の対応についての協議-2

① 虐待が解消していない場合

新たなアセスメントシートを作成しながら、現在の虐待対応計画の対応内容を継続するか、個別の課題や対応方法、目標設定の変更を行うかを検討する。

4) 評価結果のまとめと

今後の対応についての協議-3

②虐待が解消された場合

- ・高齢者が安心した生活を送るための環境整備に向けて、虐待対応として継続する必要があるか、ないか検討する必要がある。
- ・虐待対応として環境整備に取り組む必要がない場合には、終結とし、権利擁護対応または、包括的・継続的ケアマネジメント支援に移行するかについて検討を行う。

5) 会議記録の作成

対応段階の評価会議でも、初動期段階の評価会議で例示した「高齢者虐待対応評価会議記録票」を活用する。

虐待対応計画で設定した課題への対応の実施状況や目標の達成状況、確認された事実を正確に把握・記録する必要がある。

終結段階

手引き 第6章 P.107～110、●p112～114

虐待対応の終結

ポイント

(手P. 108、●p112)

- ◆虐待対応は必ず終結させる必要がある。ただし、それはあくまでも虐待対応の終結であって、支援の終結ではない。
- ◆虐待対応の終結は、評価会議において判断する。
- ◆終結の判断に際しては、「虐待が解消されたこと」と「高齢者が安心した生活を送るために必要な環境整備の目処が立ったこと」が確認できることが必要。

(1) 虐待対応を終結させる必要性

虐待対応が終結しないということは、高齢者の権利侵害が継続していることを意味する。ここでいう権利侵害とは、「高齢者の生命・身体・財産が危険な状態にあること」。

高齢者の安心した尊厳ある生活を取り戻すために、虐待対応は常に終結を意識して行われる必要がある。

(2) 虐待対応終結の考え方

【終結の要件】

○虐待が解消されたと確認できること

- ・評価会議での確認をもとに、それぞれの虐待について虐待の発生要因が整理され、虐待の解消につながったかどうかを判断する

○虐待の解消だけではなく高齢者の安心した生活につながる必要な環境整備の目処が立っていること

- ・虐待の解消が直接、高齢者の安心した生活につながるかどうか見極める必要がある

参考【アセスメント要約票（表面）】

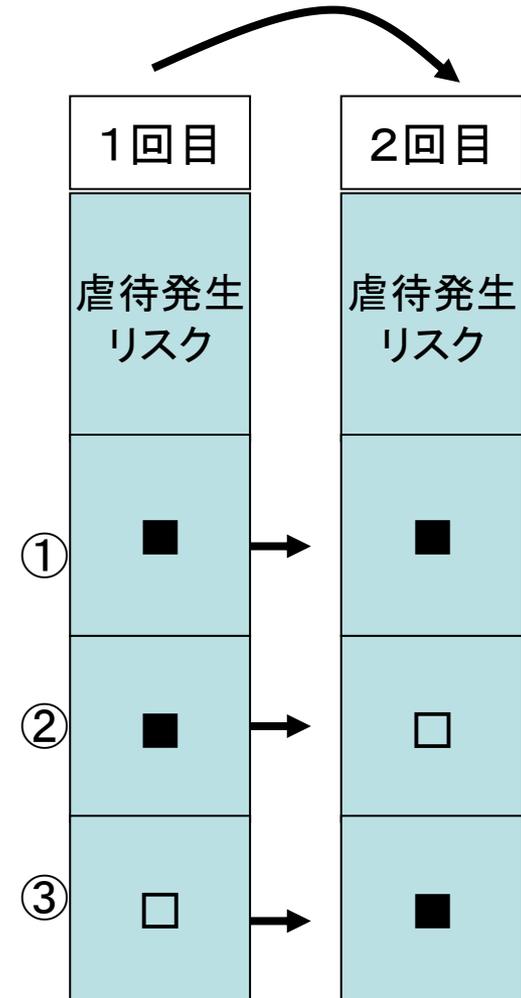
アセスメント要約票 対応計画 ____回目用

アセスメント要約日: ____年 ____月 ____日 要約担当者: _____

高齢者本人氏名:		性別・年齢: <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	籍: <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 入所・院
養護者氏名:		性別・年齢: <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	高齢者本人との関係: _____
居所の希望: <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 入所 <input type="checkbox"/> 不明		分離希望: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明	
高齢者本人の希望	最近・今後の生活の希望		
	法律上の権利、ご本人、対人関係等		
	高齢者の状態 意思疎通: <input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 特定条件のもとであれば可能 () <input type="checkbox"/> 困難 <input type="checkbox"/> 不明 認知内容: <input type="checkbox"/> 一貫している <input type="checkbox"/> 変化する 生活意欲: <input type="checkbox"/> 意欲や気力が低下しているおそれ (無気力、無反応、おびえ、断念をためらう、入所を避ける、等)		
I. 高齢者本人の情報を 直接担当者氏名: _____			
【健康状態等】			
疾病・傷病: _____		既往歴: _____	
受診状況: _____		服薬状況(種類): _____	
受診状況: _____		服薬状況(種類): _____	
診断の必要性: <input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 精神科 <input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 整形外科 <input type="checkbox"/> その他 ()			
具体的症状等: _____			
要介護認定: <input type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/> 要支援 () <input type="checkbox"/> 要介護 () <input type="checkbox"/> 申請中 (申請日: ____年 ____月 ____日) <input type="checkbox"/> 未申請			
障害: <input type="checkbox"/> 身体障害 <input type="checkbox"/> 精神障害 (<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 無い) <input type="checkbox"/> 知的障害 (<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 無い)			
精神状態: <input type="checkbox"/> 認知症 (<input type="checkbox"/> 診断あり <input type="checkbox"/> 無い) <input type="checkbox"/> うつ病 (<input type="checkbox"/> 診断あり <input type="checkbox"/> 無い) <input type="checkbox"/> その他 ()			
【虐待への対応】			
危機対応場面において: <input type="checkbox"/> 自ら助けを求めることができる <input type="checkbox"/> 助けを求めることが困難			
避難先・送迎先: <input type="checkbox"/> 助けを求める場所がある () <input type="checkbox"/> ない			
【成年後見制度の利用】			
成年後見人等: <input type="checkbox"/> あり (後見人等: _____) <input type="checkbox"/> 申請中 (申請人: _____ / 申請年月日: _____) <input type="checkbox"/> なし			
【各種制度利用】			
<input type="checkbox"/> 介護保険 <input type="checkbox"/> 自立支援法 <input type="checkbox"/> その他 ()			
【経済情報】			
収入額 月 ____万円 (内訳: _____) 預貯金等 ____万円 借金 ____万円			
1ヶ月に本人が使える金額 ____万円			
具体的な状況 (生活費や保険等): _____			
<input type="checkbox"/> 生活保護受給 <input type="checkbox"/> 介護保険料滞納 <input type="checkbox"/> 国民健康保険料滞納 <input type="checkbox"/> 後期高齢者医療制度保険料滞納 <input type="checkbox"/> その他 ()			
金融管理: <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 一部介助 (判断可) <input type="checkbox"/> 全介助 (判断不可) <input type="checkbox"/> 不明			
金融管理者: <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> その他 ()			
【エコマップ】		【生活状況】	
		食 事 (<input type="checkbox"/> 一人で可 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 不明)	
		服 薬 (<input type="checkbox"/> 一人で可 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 不明)	
		移 動 (<input type="checkbox"/> 一人で可 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 不明)	
		買 物 (<input type="checkbox"/> 一人で可 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 不明)	
		福祉施設 (<input type="checkbox"/> 一人で可 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 不明)	
		入 浴 (<input type="checkbox"/> 一人で可 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 不明)	
		排 泄 (<input type="checkbox"/> 一人で可 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 不明)	
		服薬管理 (<input type="checkbox"/> 一人で可 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 不明)	
		預貯金等の管理 (<input type="checkbox"/> 一人で可 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 不明)	
		医療機関の受診 (<input type="checkbox"/> 一人で可 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 不明)	
		【その他配慮事項】	

社団法人日本社会福祉士会 作成 Ver. II-2 (出典: 東京都健康長寿医療センター研究所作成様式を参考) 作成

対応が適切に進むにつれ
変化していく



【参考】高齢者虐待対応評価会議記録票(終結)

高齢者虐待対応評価会議記録票				決 裁 欄(例)			
高齢者本人氏名		殿		課長	係長	担当者	
計画作成者所属		地域包括支援センター		回目	記入年月日	年	月
計画作成者氏名					年	月	日
会議目的		確認した事実と日付		氏名	氏名	氏名	氏名
課題番号	目標	実施状況(誰がどのように取り組んだか 計画通りの役割分担・対応方法を実施した 場合には、□にチェック)	確認した事実と日付	① ■ 目標達成			
		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 目標達成	<input type="checkbox"/> 目標の継続	<input type="checkbox"/> 対応方法の継続	<input type="checkbox"/> 目標の変更
		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 目標達成	<input type="checkbox"/> 目標の継続	<input type="checkbox"/> 対応方法の継続	<input type="checkbox"/> 目標の変更
		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 目標達成	<input type="checkbox"/> 目標の継続	<input type="checkbox"/> 対応方法の継続	<input type="checkbox"/> 目標の変更
		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 目標達成	<input type="checkbox"/> 目標の継続	<input type="checkbox"/> 対応方法の継続	<input type="checkbox"/> 目標の変更
		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 目標達成	<input type="checkbox"/> 目標の継続	<input type="checkbox"/> 対応方法の継続	<input type="checkbox"/> 目標の変更
		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 目標達成	<input type="checkbox"/> 目標の継続	<input type="checkbox"/> 対応方法の継続	<input type="checkbox"/> 目標の変更
虐待発生の リスク状況	1. 身						
	2. 放						
	3. 心						
	4. 性						
	5. 経済的虐待						
	6. その他						
新たな対応計画の必要性		評価結果のまとめ(年 月 日現在の状況)			今後の対応		
		1. 虐待対応の終結 2. 現在の虐待対応計画内容に基づき、対応を継続 3. アセスメント、虐待対応計画の見直し 4. その他()			1. 権利擁護対応(虐待対応を除く)に移行 2. 包括的・継続的ケアマネジメント支援に移行 3. その他()		
					養護者支援の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		

【参考】高齢者虐待対応評価会議記録票(終結)

高齢者本人氏名		記録票		決裁欄(例)			
				課長	係長	担当者	
虐待種別	判定			計画評価: ___回目 記入年月日 年 月 日 会議日時: 年 月 日 時 分 ~ 時 分			
1 身体の虐待	5			出席者: 所属: 氏名 所属: 氏名 所属: 氏名			
2 放棄・放任	4			目標及び対応方法の評価 目標及び対応方法に変更の場合、()内に記載			
3 心理の虐待	5			目標達成 <input type="checkbox"/> 目標の継続 <input type="checkbox"/> 対応方法の継続 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 目標の変更 <input type="checkbox"/> 対応方法の変更 <input type="checkbox"/>			
4 性的虐待	5			目標達成 <input type="checkbox"/> 目標の継続 <input type="checkbox"/> 対応方法の継続 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 目標の変更 <input type="checkbox"/> 対応方法の変更 <input type="checkbox"/>			
5 経済的虐待	4			目標達成 <input type="checkbox"/> 目標の継続 <input type="checkbox"/> 対応方法の継続 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 目標の変更 <input type="checkbox"/> 対応方法の変更 <input type="checkbox"/>			
虐待発生 リスク状況		虐待種別 1. 身体的虐待 2. 放棄・放任 3. 心理的虐待 4. 性的虐待 5. 経済的虐待 6. その他	判定 1. 虐待が発生している 2. 虐待の疑いがある 3. 一時的に解消(再発の可能性が残る) 4. 虐待は解消した 5. 虐待は確認されていない	【判定欄に該当番号を記入】 1. 虐待が発生している 2. 虐待の疑いがある 3. 一時的に解消(再発の可能性が残る) 4. 虐待は解消した 5. 虐待は確認されていない			
新たな対応計画の必要性		評価結果のまとめ(年 月 日現在の状況)		今後の対応 1. 権利擁護対応(虐待対応を除く)に移行 2. 包括的・継続的ケアマネジメント支援に移行 3. その他()			

②虐待の解消
判定が4または5になる

1. 虐待が発生している
2. 虐待の疑いがある
3. 一時的に解消(再発の可能性が残る)
4. 虐待は解消した
5. 虐待は確認されていない

終結 = 1か2
または1・2に○

1. 権利擁護対応(虐待対応を除く)に以降
2. 包括的・継続的ケアマネジメント支援に移行
3. その他()

③新たな対応計画
の必要性なし

④評価結果のまとめ
終結の場合は1. 2へ○

- > 1. 権利擁護対応(虐待対応を除く)に移行
- > 2. 包括的・継続的ケアマネジメント支援に移行
- > 3. その他()

長寿医療センター研究所「支援計画書(第2版)」を参考に作成

(3) 虐待対応の終結から 今後の対応の検討へ

「終結」とはあくまでも「虐待対応としての終結」であり、必ずしも当該高齢者や家族との関わりが終了することではない。

必要に応じて「権利擁護対応」や「包括的・継続的ケアマネジメント支援」に移行する。

その際、以下の点を意識して適切な関与、引き継ぎを行う。

- 1) 地域包括支援センターの関与の検討
- 2) 関係機関との連携体制の構築